

YA 人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ 筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは“ちくまプリマー”から読んでみましょう。

『実践！新社会人のキホン』 内田 ^{かずとし}和俊/著 Y336/ウ

『A I に書けない文章を書く』 前田 ^{やすまさ}安正/著 Y816/マ

『「嘘をつく」とはどういうことか』 池田 ^{たかし}膏/著 Y801.0/イ

『イスラームからお金を考える』 長岡 慎介/著 Y332.2/ナ

『やさしい日本語ってなんだろう』 岩田 ^{かずなり}一成/著 Y810/イ

「なるには Books」シリーズ ペリカン社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手にとってみてください。

『生命科学部』 佐藤 成美/著 Y376.8/サ

『世界に挑む！デフアスリート』 ^{もりの}森埜 こみち/著 Y780/モ

YA ボランティア 募集中！！

興味のある方は
中央図書館まで
お問合せください



YA ブックリスト第 57 号

令和 7 年 6 月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台 4-6-18

電話：042-378-7111 FAX：042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



動物

VOL.57

皆さんは好きな動物がいますか？家族として一緒に暮らす人も沢山いますね。世界には数えきれないほどの動物がいて、人間との共同生活は地球規模で行われていると言っても過言ではないでしょう。そして動物たちは、声や仕草など様々な形で私たちにメッセージを伝えています。それを上手にキャッチできるようになりたいですね。



『命をつなぐセラピードッグ物語』

大木 トオル/著 講談社 Y645.6/オ

捨てられたり、災害で行き場を失った犬たちが、医療や介護の現場で活躍しています。つらい経験をした犬が人の心を癒やすことができるのはなぜなのでしょう。そんなセラピードッグにたくさんの愛情を注いで育て上げる人々と犬たちの物語です。

『保護犬と、保護猫と。 必然の出会いで結ばれた物語』

今西 ^{のりこ}乃子/著 浜田 一男/写真 WAVE出版 Y645.6/イ

保護犬や保護猫…あなたはこの言葉を知っていますか？さまざまな事情があって保護された犬や猫たちが、保護された先で出逢った人たちとコミュニケーションを取ることで、お互いに少しずつ変わっていく…その姿が描かれた一冊です。

^{けんぼう}『犬房女子』 ^{どうし}藤崎 董士/著 大月書店 645.6/フ

仕事 『キミにもなれる！愛玩動物看護師・トリマー・ドッグトレーナー』



TCA東京ECO動物海洋専門学校/監修

つちや書店 Y649.0/キ

動物好きなあなた！動物に関わる仕事について調べてみませんか？この本は、タイトルにある3職種について、イラストや漫画、実際に働いている方へのインタビューをまじえながら、とても分かりやすく解説しています。この本を開くことが、夢を現実近づける第一歩になるはず！

『動物園飼育員・水族館飼育員になるには』高岡 昌江^{まさえ}/著

ぺりかん社 Y480.7/タ

『獣医師になるには』井上 こみち/著 ペリかん社 Y649.0/イ

共に暮らす

『いちばんよくわかる！柴犬の飼い方・暮らし方』

青沼 陽子, 加治 のぶえ/監修 成美堂出版 645.6/イ
凛々しさとキュートさのギャップがたまらない、日本を代表する犬種・柴犬。本書はそんな柴犬を飼うために必要な知識がぎゅっと詰まった一冊です。お迎えの準備から基本的なしつけ、日々の健康管理まで、豊富なカラー写真とともに分かりやすく解説しています。



『チンチラ飼育バイブル』田向 健一^{たむかい}/監修

メイツユニバーサルコンテンツ 645.9/チ

チンチラを知っていますか？まん丸の目と美しい被毛をもつアンデス山脈生まれのげっ歯目チンチラ科チンチラ属。体長30cm程、寿命は15年前後。日本で飼育が始まったのは1980年代以降、まだまだ知られていない存在です。彼らと暮らそうと思う人以外にも、チンチラって何？と思ったら読んでみてください。

『モルとムギ』荒汐^{あらしお}部屋^{べや}/著, 前田 悟志^{さとし}/写真 河出書房新社 645.7/ア

物語

『絵本旅猫リポート』有川 浩^{ひろ}/著 村上 勉/絵 文藝春秋 913.6/ア

ぼくは猫だ。名前はナナ（『吾輩は猫である』風に読んでくれ）。飼い主のサトルと5年間幸せに暮らしてきた。そしてこれから二人（？）で最後の旅に出る。なぜ「最後」なのかって？それはおいおいわかる。では、ぼくらの最後で最高にすてきな旅の話をしよう。

『キーパーズ』美奈川 護^{まもる}/著

アスキー・メディアワークス Y913.6/ミ

子どもの頃に碧山^{みどりやま}動物園で出会ったアムールヒョウに魅かれた主人公。大人になって碧山動物園で働いています。ある日、動物の言葉が分かるという「不思議ちゃん」が彼の前に現れ…。飼育員としての動物との向き合い方がきめ細やかに描かれています。将来飼育員を目指す方には是非読んでほしい一冊です。



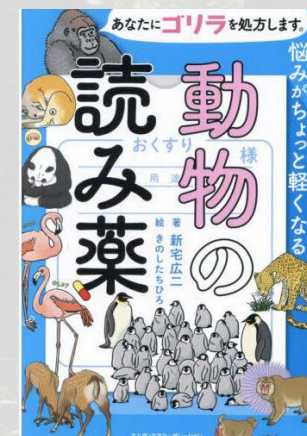
ふしぎ

『悩みがちょっと軽くなる動物の読み薬 あなたにゴリラを処方します。』

新宅 広二^{しんたく こうじ}/著 きのした ちひろ/絵

エムディエヌコーポレーション 480.4/シ

ちょっとだけ生きづらさを感じている人間の皆さんに“動物”を処方してくれる本です。笑えて、ほっとする、そんな動物たちの生態や行動を集めたお薬本。面白くて止まらなくなるため、それぞれの頁下部に掲載している“追加の処方箋”もお忘れなきようお読みください。



『火事を知らせる猫 贈り物をする犬』クリスティン・フォン・クライスラー/著

安原 和見/訳 光文社 481.7/フ

『生きもの「なんで？」行動ノート』きのした ちひろ/絵・文

SBクリエイティブ 481.7/キ